

電子レシートシステム iReceipt 運用開始

ブシロード、カードキングダム、ネットラピュタ 3 社

O2O を現実化する画期的な取り組み

ネットラピュタ株式会社(東京都品川区 米井 義人社長;以下「ネットラピュタ」)は、当社の関連子会社である株式会社ログノート(東京都品川区 高津祐一社長;以下「ログノート」)を 2014 年 2 月 28 日に設立し、2014 年 3 月初旬より、株式会社ブシロード(東京都中野区;以下「ブシロード」)、カードゲーム販売店大手のカードキングダム(運営元;東京都千代田区;有限会社遊縁)と共同で、POS 連動型電子レシートシステム iReceipt(アイレシート)の運用を開始いたします。

iReceipt 導入により、消費者は、スマートフォンをかざすことで電子レシートを受領することができるようになり、店舗は、紙の発行削減を通じての環境保護への貢献と、来店者の購入履歴をふまえた新しい販売促進活動が実施できるようになります。

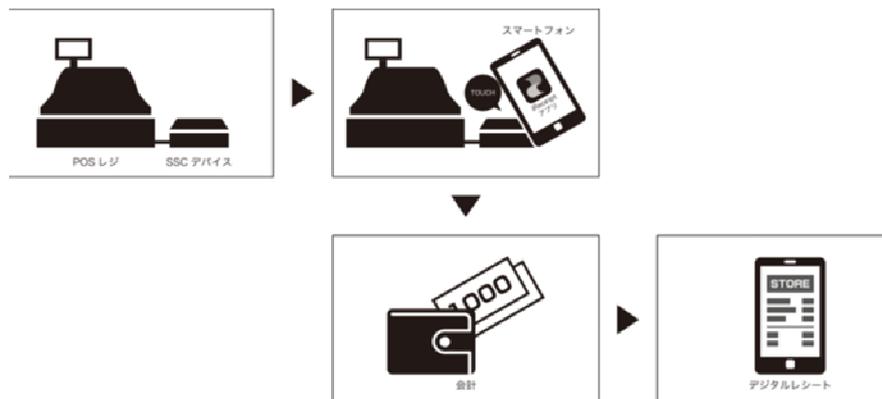
■もうとすぐ捨てられるレシートから管理できるレシートへ

これまで消費者は、精算後すぐに「紙」のレシートを廃棄してきました。一方で、保管中の紛失や印刷の劣化により、返品交換や保証サービス対応を求めるに際して、支障がもたらされることもありました。

店舗では、レシートは提供するだけで、それに基づいた来店者の過去の来店回数や購買金額実績を踏まえての販売促進を行うことは容易ではありませんでした。さらに最近では、スマートフォンの著しい普及により、消費者がリアルと web 相互の境界を行き来できることとなり、店舗は web 上でも存在感を示す必要に迫られています。

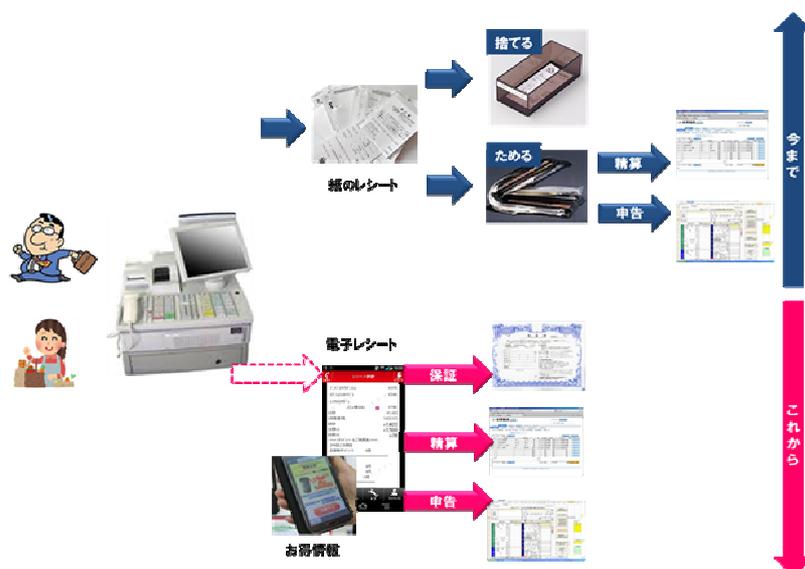
iReceipt は、こうした現実に着目し、「管理できるレシート」を実現しました。

- ① 店舗の POS システムを供給する株式会社ビジコム(東京都文京区;以下「ビジコム」)および日本電気株式会社(東京都港区;以下「NEC」)と提携し、前者は同社既存顧客へ iReceipt システムのオプション導入を推奨していきます。後者は同社販売予定の NEC モバイル POS ソリューションに iReceipt システムとの連携機能を搭載します。(2/27NEC にてプレスリリース済)
- ② 消費者には iReceipt アプリのダウンロードを推奨し、上記 POS システムを導入した店舗で買い物をする、電子レシートの発行が受けられます。電子レシート受領端末認証には、幾通りかの方法を提供する予定ですが、今回はその主力と想定する超音波技術を利用した、OS に依存しない独自の方法を採用しています。



これにより、レシートをスマートフォンに表示できるようになりますので、紛失や印刷劣化の可能性が低減します。一方店舗は、データに基づいて最適な販促実施(クーポン発行・自社 EC サイトへの誘導など)や、アプリを通じて新商品やキャンペーンなどの情報提供を容易に行うことができます。

さらに会員を抱えている web サービス事業者は、web 上の告知に加え、消費・購買という実店舗へ「実績」をもたらす O2O の取り組みを加速することができます。



■ O2O が現実化する画期的なコラボレーション

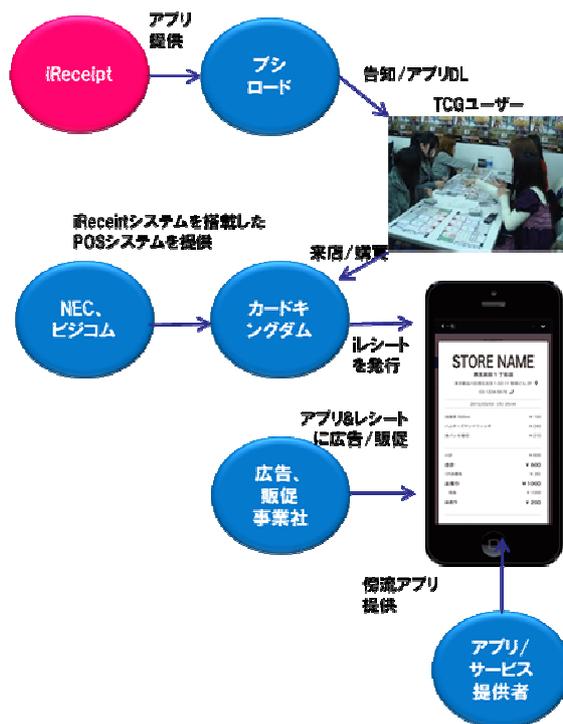
上記を具体化したのが、今回の 3 社の取り組みです。

まず、ブシロードが提供するテレビ番組などの各種メディアを通じて、同社のユーザーに iReceipt アプリのダウンロードを推奨します。

次に、このアプリをダウンロードしたユーザーがカードキングダム直営6店舗において買い物をし、電子レシートの発行を受けると、ブシロード特製のノベルティがプレゼントされます。

その後は、購入したカードキングダム店舗からクーポンやイベント案内を受領できる他、プシロードから最新情報が随時配信されます。

今回のプシロードは、多数のユーザーを抱える web サービス提供者、かつ小売店に商品を卸し、商品情報を豊富に有するメーカーとしての双方の立場から、「購買情報の共有」を通じた相互的なコミュニケーションの実現のために参加しています。



今後、ログノートは、2014 年度末までに 2,000 店舗への導入、電子レシート総発行枚数 100 万枚、2018 年度末までに同じく 50,000 店舗、50 億枚を目標に iReceipt システムを、コンビニエンスストア、スーパーや量販店、専門店等へ順次導入を行ってまいります。

本件お問い合わせ先

ネットラピユタ(株) ネットワークサービス部 安田 03-6821-0011